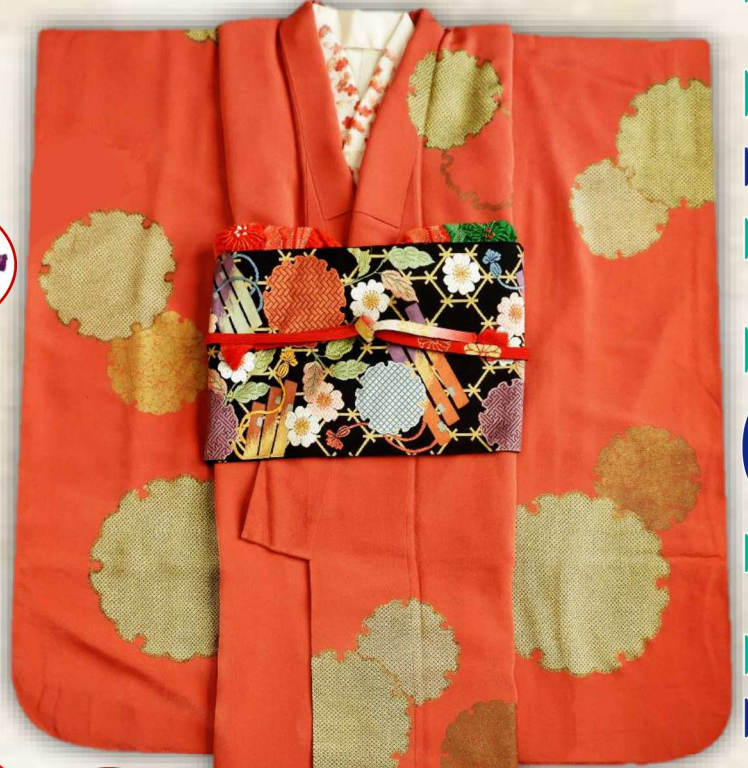


RE♡STYLE

JAPANESE



髪飾り



帯締め

簞笥の中で眠っていた振袖

母から娘へ

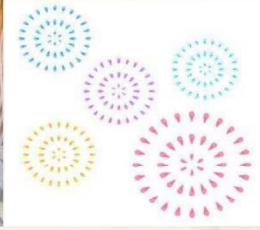
想いを繋ぐ

あなたは、お母さんの振袖を見たことがありますか？

私は、二年后に成人式を迎えます。

成人式は、大人への第一歩であり、大切な思い出として忘れられない日になることでしょう。母の振袖を選ぶ時、お祖父さん、お祖母さんは、悩んだ末に決めたそうです。その振袖は、家族の想いも詰まった世界に一枚しかない着物になっています。

着物の魅力のひとつは、時代が変わっても形が変わらないことです。大切な日のために、母の二十歳の思い出が詰まった振袖を母と一緒に二十年ぶりに現代風にコーディネートし、甦らせてみました。



和装

リメイク
和女子への挑戦

二十年前に比べ、現在は、着物の消費自体は落ちこんでいるものの、伝統や格式にとらわれない形で、「和の文化」が再注目されています。例えば、気楽に古都の街をレンタルの着物姿で歩いたり、アンティークの着物や小物を自分らしく、自由にファッションに取り入れる「和女子」という言葉が生まれるなど、現在のライフスタイルに合った形で和装が注目され始めてきました。

また、ハンドメイドブームに乗り、「和装リメイク」も人気となっています。特に、母親世代の着物は、品質がよく、光沢や染めもしっかりしており、上品で重厚感があります。私は、二十年前の母の帯を和装バックにリメイクし、新しい価値を見いだそうと挑戦してみました。私は、「人と人、人と社会、人と物」を繋ぎ、日本の伝統文化の価値を見直し、和の文化を発展させ、これからの世代に受け継いでいきたいと考えています。

20年前の帯



RE-MAKE

RE♡MAKE



鞆



草履



20年前の家族写真

RE-STYLE